

「京都再生ネットワーク会議」を 活用した再生支援の取組について

～京都モデルの構築

2012年12月17日

京都信用金庫 金融円滑化推進部
部長 竹口 尚樹

目次

1. 当金庫の再生支援・経営支援の取組体制
2. 「京都再生支援ネットワーク会議」とは
3. 京都府・京都市協調の中小企業再生支援融資制度
4. 中小企業再生支援融資制度を活用した再生事例①
～DDSの活用
5. 中小企業再生支援融資制度を活用した再生事例②
～主要行債権カット後のリファイナンス資金の支援
6. 「雨の日により多くの傘を貸すことができる金融機関」として

1. 当金庫の再生支援・経営支援の取組体制

●体制

担当部署: 金融円滑化推進部経営支援課

人員構成: 担当役員、部長、課長以下15名(今期3名増員)

支援対象: 未保全額100百万円以上 債務者区分要注意先
以下、ランクダウンの懸念がある正常先

実績: 24年9月現在 313先(経営支援先)

●役割

- ・経営改善計画の策定支援、経営改善計画のモニタリング
- ・財務DD,事業DDによる経営改善に関するコンサルティング機能
- ・再生支援協議会、外部コンサル導入による抜本的改革のサポート
- ・一定期間の集中訪問による事業実態の把握
- ・京都再生支援ネットワーク会議への参加

2. 「京都再生支援ネットワーク会議」とは

京都府下で再生支援に関わる金融機関、信用保証協会、行政、再生支援協議会等で構成される会議

● 主な取組

- ・地元金融機関の担当者による月例ミーティングの実施
- ・定期的な勉強会、再生事例の発表会でのノウハウの習得
- ・地元金融機関の担当者同士の交流



● 効果

- ・再生支援に関わる担当者間の連携が図れ、相互の金融機関で円滑な調整が可能
- ・再生支援の取組がスピードアップ

※ 事務局である信用保証協会の協力体制が充実していることが再生支援ネットワーク会議の成功の秘訣

3. 京都府・京都市協調の中小企業再生支援融資制度

融資対象 … ①経営の安定に支障をきたしているが、再生の可能性が高く
経営者が自社の再生に強い意志を持った方

②取扱金融機関又は京都府中小企業再生支援協議会の支
援を得て再生計画を作成した方

融資期間 … 10年以内(必要に応じて20年以内も可能)

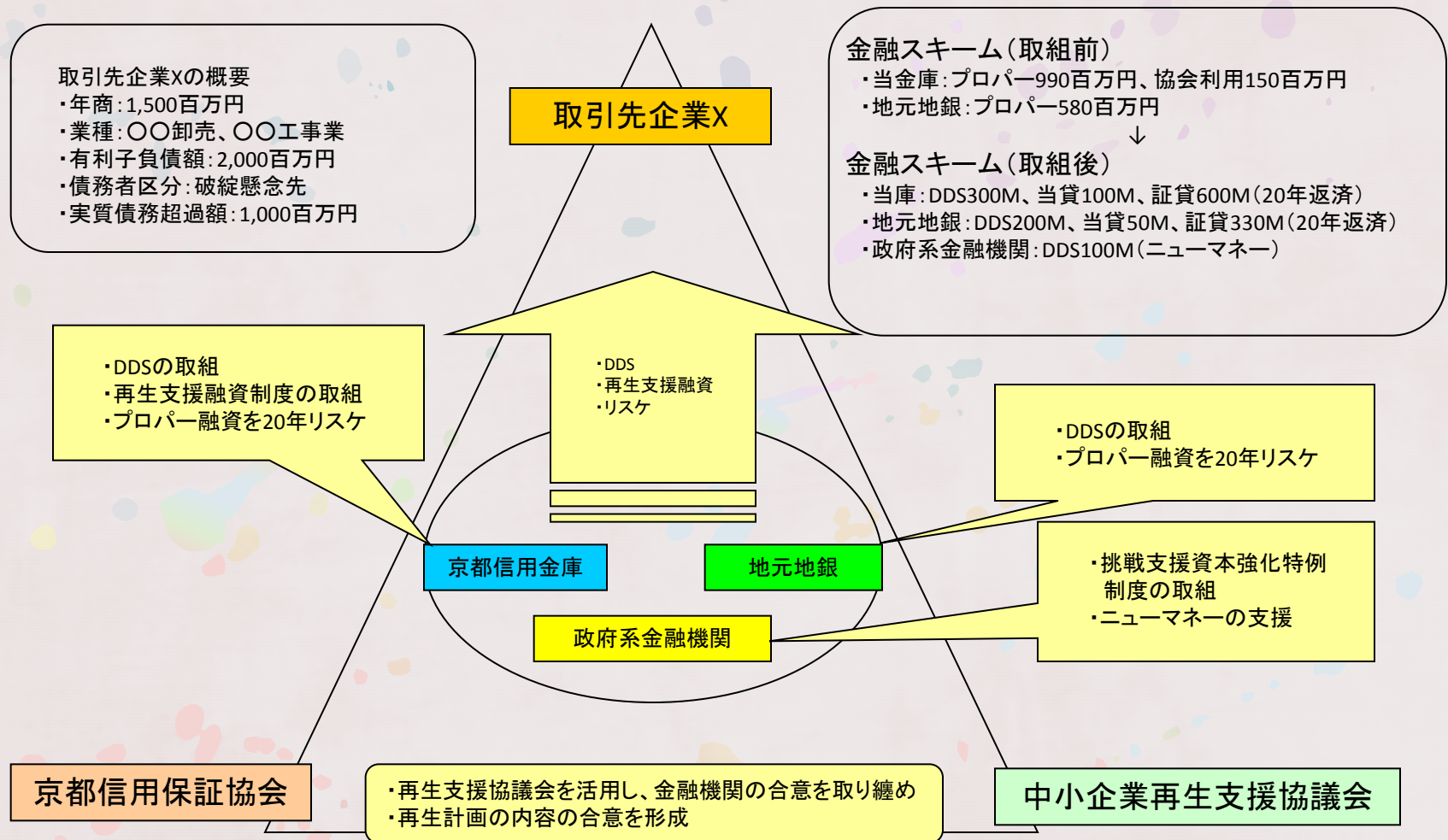
融資利率 … 取扱金融機関の所定利率

融資限度額… 一般保証枠2億円
(セーフティーネットの認定で別枠の2億円も利用可能)

資金使途 … 既存の保証付き借入金の借り換え(再生計画に必要な運転
資金・設備資金も検討可能)

4. 中小企業再生支援融資制度を活用した再生事例①～DDSの活用

「3金融機関での協調支援により、モニタリング機能強化も図り、計画の実現性を高める」



5. 中小企業再生支援融資制度を活用した再生事例②

～主要行債権カット後のリファイナンス資金の支援

「当金庫及び地元地銀をリファイナンスーとした第二会社分割方式」

事業内容：〇〇の輸入販売

負債	(借入) 2,500百万円
京都信用金庫	
地元地銀	
地銀	
政府系金融機関	
Aメガ銀行	
Bメガ銀行	
Cメガ銀行	
Dメガ銀行	
信用保証協会	(デリバティブ) 1,300百万円
対象債権額計	3,800百万円

メガ銀行4行
債権売却
(約90%を免除)

〇〇ファンド

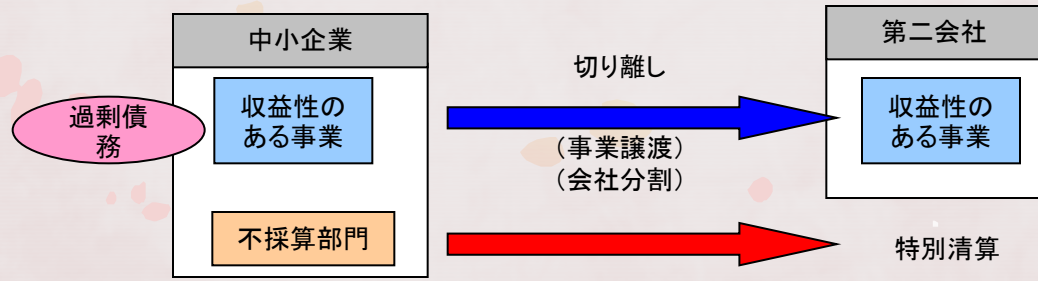
金融機関・保証協会・再生支援協議会の連携

・当金庫と地元地銀がリファイナンス資金を支援
(デリバティブによる損失部分を含め保証協会の
中小企業再生支援融資を活用)

負債	(借入) 1,000百万円
京都信用金庫	
地元地銀	
地銀	
政府系金融機関	
対象債権額計	1,000百万円

取組全体の流れ

- ・再生支援協議会二次対応による経営改善計画書作成
- ・メガ銀行4行の債権売却後、当金庫と地元地銀がリファイナンス資金を支援
(保証協会の中小企業再生支援融資を活用しローパー融資と併用)
- ・保証協会求償権消滅についても当金庫と地元地銀がリファイナンス資金を支援
(保証協会求償権消滅保証を活用)
- ・既存債務とリファイナンス資金の弁済の優先劣後について債権者間協定書を締結



6. 「雨の日により多くの傘を貸すことができる金融機関」として

- ・平成25年3月での中小企業金融円滑化法終了後も再生支援・経営支援は現在と同様の体制で継続していく
- ・コンサルティング機能を強化していくためには、再生ノウハウの習得に加え、担当者に情熱が必要……人材育成の強化
- ・これまで、年間平均で約50先の再生支援を取り組んできたが、今後も再生支援が必要な先はまだ増加していくと予想

※地域経済の活性化を図るためには事業所数を減らさないことが重要



※業況悪化先に対する再生支援・経営支援業務は事業計画の1丁目1番地

※雨の日により多くの傘を貸す
ことができる金融機関……

経営者の危機感は重要、誰にでも傘を貸しに行くのではダメ

経営者の事業存続に懸ける強い思いが不可欠